

平成18年度第4回時間学研究所運営委員会議事要旨

1. 開催日時 12月25日(月) 13:30~14:40
2. 場 所 第二テレビ会議室
3. 資 料

資料：第2回、第3回時間学研究所運営委員会議事要旨(案)
：時間学研究所規則改正WG議事録
：平成18年度学長裁量(戦略的経費)要求書
：平成20年度概算要求プロジェクトの概要
：時間学研究所年報編集規定

4. 議 事

議事に先立ち、第2回及び第3回時間学研究所運営委員会議事要旨(案)について諮られ、了承された。

報告事項

1. 時間学研究所規則改正検討WGの報告

委員長から、第2回時間学研究所運営委員会で設置の認められた時間学研究所規則改正検討WGについて、資料により検討内容に関して報告があった。

また、1月以降も検討を継続していく旨発言があった。

WGの報告に関連して、部門を運営していく上での現状と問題点について意見が出され、意見交換があり、協議事項2にある「平成19年度時間学研究所プロジェクトについて」で検討することとなった。

2. 学術講演会について

委員長から、1月13日に開催する学術講演会に関して出席要請がされた。

3. 概算要求について

委員長から、平成18年度学長裁量経費(戦略的経費)及び平成20年度概算要求について、時間学研究所として提出した旨、資料により報告があった。

4. グローバルCOEの申請について

委員長から、第2回の時間学研究所運営委員会において、COEに関して申請を予定する旨の発言を行ったが、今回のグローバルCOEに関しては、トップダウンにより申請拠点が選定され、時間学研究所は申請拠点に入っていない旨の報告があった。

委員から、COEに限らず申請等に時間がない場合でも対応できるよう、専任教員を中心に計画を立てることを検討して欲しい旨発言があった。

協議事項

1. 時間学研究(年報)について

委員長から、時間学研究所の年報を「時間学研究」として発行することに関して資料により説明があり、委員から研究論文の投稿に関してはオリジナルを提出する場合に、理系では二重投稿の問題から解説的なものを投稿され、文系から原著が投稿された場合バランス的に良くないのではないかとの意見が出されたが、時間学研究所の成果物として発行することは

良いことであることから、議論を踏まえ編集規定案について諮られ、了承された。

2. 平成19年度時間学研究所プロジェクトについて

委員長から、来年度のプロジェクトに関して、現在の4部門は残し、メインテーマは決まっているのでサブとなるテーマを提案し、これに関連するプロジェクトを募集する方法をとりたい旨提案がされ、時間学研究所規則改正検討WGの報告事項と併せてプロジェクト等に関連した意見交換がされた。

- ・現在の研究所の規模では、4部門は大きすぎるので、もっとコンパクトなものとしてはどうか。
- ・本年度認められている15プロジェクトに関しては一端終了とする。
- ・プロジェクトや分門の数は、スタッフの人数に合わせたもので良いのではないか。
- ・メインプロジェクト及びサブプロジェクトを設置し、サブプロジェクトをメインプロジェクトと同等となるよう実績を積み、その後次のサブプロジェクトを設置することにより、少しずつ核となるプロジェクトを増やして行きたい。
- ・時間学研究所からテーマを提案し募集することとし、その中から選考することとするが、時間学研究所においても気づかないテーマも考えられるので、テーマを募集することも検討する。

以上の議論を踏まえ、WGにおいて検討を行い、運営委員会で審議することとなった。